



環境ソリューション活動

環境への意識の高まりとニーズにより、FDKグループ企業では、環境に特化したビジネスを展開しています。

(株)富士電化環境センターの事業活動

地球温暖化対策をはじめとしてRoHS、ELVのほか、REACH、POPs、WEEE、中国版RoHSなど世界的な環境保全運動の高まりの中、(株)富士電化環境センターではFDKグループの総合環境分析調査機関として、永年培ってきた分析技術・環境調査技術により企業や地域の環境保全に取り組んでいます。事業としては、環境問題全般に関するコンサルティングや環境対策設備の設計、施工、メンテナンスまで一貫した業務を行い、お客様の環境問題解決の支援を行っています。

ISO17025を認定取得

当社は、ISO17025の大気・ばい煙測定に関する認定取得を目指した活動を進め、2007年1月に日本化学試験所認定機構(JCLA)より認定を受けました。国際規格であるISO17025は、試験所および校正機関としての能力に関する一般要求事項を定めたもので、測定・試験などの運営管理上の要求事項だけでなく、試験や校正の精度管理に関する技術的な内容についても要求しています。

この認定により、当センターが提供するデータは、その認定範囲において国際的にその信頼性が認められたこととなります。引き続き、製品中の有害金属分析へと認定範囲を拡大すべく活動をしています。



JCLA認定証

「精度管理優良事業所」として表彰受賞

当社は、社団法人日本作業環境測定協会より精度管理優良事業所の表彰を受けました。この表彰は、厚生労働省が委託した精度管理事業のすべての項目で最高のA評価であり、(社)日本作業環境測定協会が実施したクロスチェックすべての項目で最高のA評価となった優れた測定機関に与えられるものです。平成18年度は全国で18社が受賞しました。



精度管理優良事業所表彰状

地域とのコミュニケーション活動

当社は環境分析測定を専門としており、その専門の立場から地元自治体や団体、学校などと以下のようなコミュニケーション活動を行っています。

- ① 地方自治体(湖西市)の環境審議会へ委員を派遣し、専門家の立場で行政運営を支援いたしました。
- ② 地元自治体職員や地元中学校生徒を対象として、当社分析室の見学会を実施しました。
- ③ 静岡県計量協会の技術部会へ委員を派遣し、業界全体の技術向上に取り組んでいます。
- ④ 近隣地域内の企業で組織された環境保全協議会での環境カウンセラー勉強会へ講師を派遣しました。また、各種研究グループへ参加し地域の環境や企業の環境意識向上の啓蒙活動を行いました。
- ⑤ 地域で行う河川の生物調査に指導者として参加しました。



環境保全協議会での環境カウンセラー勉強会



生物調査への指導者派遣

グリーン調達に係る有害物質調査、試験

欧州でのRoHS、ELVのほか、REACH、POPs、WEEE、中国版RoHSなどの化学物質規制に対応した分析調査を実施しています。特にRoHS関係では測定結果がおお客様の生産活動に直結しているため、当社では常に迅速な分析結果の提供を心がけております。またシックハウス対策に代表されるトルエンなどの揮発性有機化合物の分析も、2005年の大型チャンバー導入後、電子製品、自動車内装品の調査と幅広く実施しております。

最近では、“環境にやさしい”環境配慮型製品のニーズの高まりにより、新しい材料などを使用した製品評価のための各種信頼性試験の需要も高まってきております。



VOC放散量分析 (ディスプレイからの揮発性有機化合物分析)

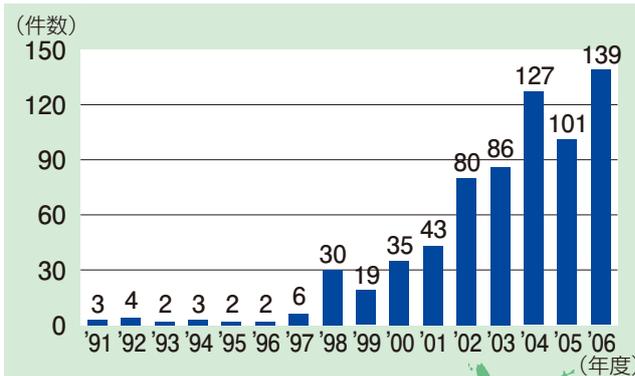


信頼性試験装置 (“環境にやさしい”製品の温度湿度加速試験)

土壌汚染対策

当社は土壌汚染対策法の施行前より土壌汚染対策について全国的なレベルで取り組んできました。当初はISO14001認証取得に伴う調査が中心でしたが、2003年に土壌汚染対策法が施行されてからは、調査対策実施件数が増加し、現在では100件/年以上こなせる体制を構築しています。当社では各都道府県市町村が条例で独自に定めた土壌汚染対策にも合致する調査を行っています。最近では法律に関連した調査対策だけでなく資産リスク管理のための調査が増えております。今後も顧客のリスク低減の一助になるよう高い技術をお客様に提供できるよう努めていきます。

主な土壌汚染調査と対策工事実績



調査対象エリアを日本全国に拡大



環境調査

浜名湖周辺地域からより広域に活動範囲を拡大

調査開始当初は、水質調査、大気調査、悪臭調査などは浜名湖周辺を中心に活動してきました。現在では、さまざまな調査ニーズに対応し近隣都府県の事業所へと調査範囲を拡大して、工場や施設、地域環境における調査・測定を行っています。永年にわたり培った技術により現地調査から分析、報告まで一貫した対応でおお客様の要望にお応えします。

事業内容

環境測定分析/環境アセスメント
 (大気・水質・騒音・振動・悪臭・土壌等の分析、作業環境測定)
 土壌・地下水汚染調査/対策
 グリーン調達支援のための分析調査
 材料分析・信頼性試験 計測器校正業務
 シックハウス物質測定、VOC放散量測定
 環境設備設計施工管理

株式会社 富士電化環境センター

創立 1976年1月24日
 資本金 7,000万円(FDK株式会社 全額出資)
 従業員数 50名
 代表取締役社長 前田 丈夫
 所在地(本社) 静岡県湖西市鷺津2281番地
 TEL 053-576-0841 FAX 053-576-5258



環境ソリューション活動

FDKエコテック(株)の事業活動

FDKエコテック(株)は、パソコンを主体とした情報機器のリサイクル事業を目的として、1997年に設立しました。パソコンなどの情報機器のリサイクル事業を展開し、資源循環型社会の実現に向けた取り組みを行っています。設立以降、取り扱い品目を増やすとともに収集運搬エリアの拡大にも努めてまいりました。また、2002年には業界としていち早く環境国際規格であるISO14001の認証を取得し、2003年度にはOA機器に関する取り扱いにおいて廃棄物ゼロエミッションを達成いたしました。

富士通リサイクルセンターの中部拠点として

当社は、富士通リサイクルセンター(FRS)の中部リサイクルセンターとして東海・北陸・近畿13府県の企業から出る使用済みパソコンなどの情報機器を取り扱っています。

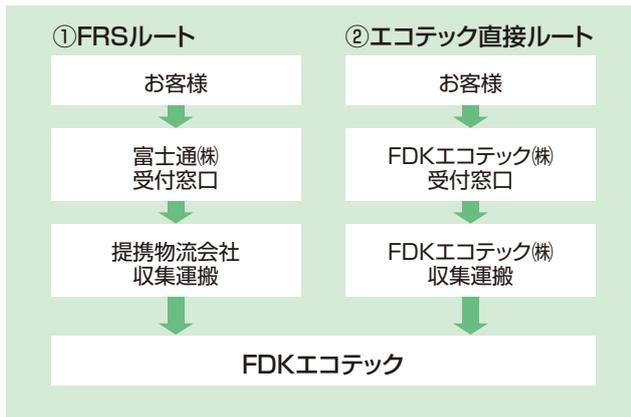
また、エコテック直接ルートによる収集受付も行っており、お客様の重要な情報機器の廃棄処分を、お客様の手元からの引き取り、処分まで一貫した体制で行っています。お客様での搬出が不可能な大型機器の解体・搬出にも対応しています。

富士通リサイクルシステム



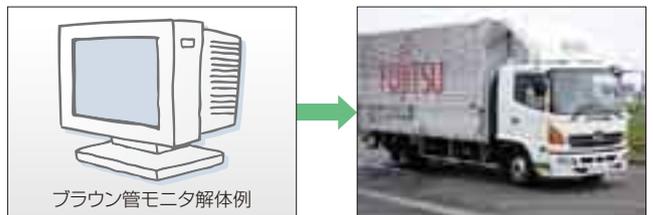
FRSでは、メーカーを問わず、情報通信機器関連製品を取り扱っています。お客様の固定資産等の確実な廃棄等についても対応させていただいております。

収集受付からの流れ



リユース、リサイクルの流れ

リサイクルルートにより受け入れた使用済み製品を、手作業で再生・リサイクルが可能な単位まで解体して分別を行っています。



リユース(再使用)



ハードディスク
メモリー
フロッピーディスクドライブ
コンパクトディスクドライブ、
など

リサイクル(再資源化)



プリント基盤 IC	金属屑	部品屑	ディスプレイ CRT	廃プラスチック	マニュアル類
貴金属 回収	鉄・非鉄 回収	破碎 高温溶解処理 金属回収システム	ブラウン管 原料化 システム	高炉原料化 システム	紙再生 システム
貴金属に再生	地金に再生	地金に再生	ブラウン管に 再生	高炉の 代替燃料	再生紙 ダンボール

情報漏洩の防止対策

パソコンや記録メディアからの企業や個人の情報漏洩対策として、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「パソコンの廃棄・譲渡時におけるハードディスク上のデータ消去に関するガイドライン」に準拠したデータの消去を行っています。消去においては、富士通(株)が開発した米国国防総省(DoD)、米国国家安全保障局(NSA)など、各種消去規格に対応した特殊なソフトを用いています。



HDDデータ消去装置



HDD破壊装置

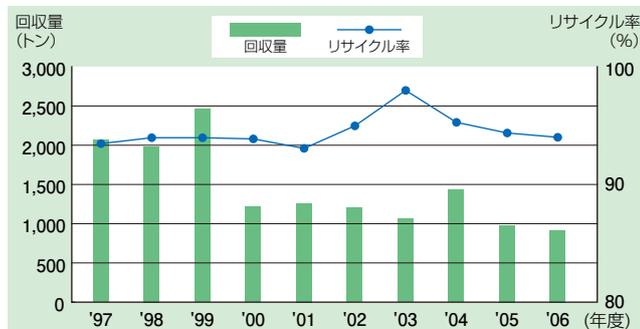


CD破壊装置

また、当社独自にコンパクトディスクのデータ破壊装置やハードディスクの物理的破壊装置を開発して対応しています。その他テープ類、IDカード、半導体メモリー等全ての記憶メディアのデータ消去に対応可能な体制を構築しています。また、お客様のご要望により各種証明書類の発行に対応しています。

回収量とリサイクル率の推移

2006年度の回収量(受け入れ量)は919トンで、リサイクル率は92%となり、回収量は2003年から減少傾向にあります。これは、WINDOWS XPによるパソコンの代替需要が衣服したことや、リユース市場の一般への認知が向上したこと、そして小型・軽量化製品による1台当り重量が軽減した影響と考えられます。



※今回、これまでの回収量の算出方法を見直いたしました。

2006年度における新たな取り組み

- FDKエコテック(株)のホームページ開設準備
- リサイクル統合管理システム構築とランニングテスト

再資源化の促進

リサイクル率の向上への取り組み

回収された使用済み製品で、複合素材となっているものは部品レベルに解体しただけでは、素材としてのリサイクルが困難となっています。そこで、さらにプラスチックや金属といった単一の素材のレベルまで解体することで、原材料としてのリサイクルを促進しています。特に、プラスチックについては材料の分別を強化し、塩化ビニル、ポリウレタン樹脂などのリサイクルを進めています。

また、プラスチックをより細かな状態にするために破砕機を導入しております。



プラスチック破砕機

リサイクル対象品の拡大

蛍光管の取り扱いについても対応できるように、蛍光管破砕機を導入しています。蛍光管内に含まれる水銀等の有害物質を安全に処理して再資源化を図っています。また、発泡スチロールのリサイクル促進のために、溶解装置を導入して対応しています。

マグネットテープ(MT)、ビデオテープ等においてもケース等の資源リサイクル、テープ部のサーマルリサイクルにより、リサイクル化を促進しています。



蛍光管破砕装置

許認可

- 産業廃棄物収集運搬業
許可番号:2100053003(岐阜県)
- 収集運搬の範囲
岐阜県、愛知県、三重県、静岡県、滋賀県の全域
- 産業廃棄物中間処理業
許可番号:2120053003(岐阜県)
- 産業廃棄物の種類
廃プラスチック類、金属くず、ガラス・陶磁器くず、コンクリートくず
(工作物の新築または改築に伴って生じたものは除く)

取り扱い品目

- コンピュータおよび周辺機器
- 通信機器
- 電話機、携帯電話、交換機、POS端末
- 磁気テープ、カセット、フロッピー、機密文書等
- OAディスク、ラック(木製品を除く)
- ワープロ、ファクシミリ、複写機
- 銀行端末(ATM)

FDKエコテック株式会社

設立 1997年3月10日
 資本金 3,000万円(FDK株式会社 全額出資)
 代表取締役社長 中澤 正典
 住所 本社:静岡県湖西市鷺津2281番地
 事業所:岐阜県海津市平田町戸倉478
 TEL 0584-66-4781 FAX 0584-66-4791
 従業員 18名